

ME-SO-01: 地図・GIS・ 球面上の世界

共通テスト社会・地理総合
(Medvance 公式教材)

なぜ今、この単元か？ — 共通テスト地理は
暗記量ではない。「図表の読み取り精度」が
最初の関門であり、得点を決定づける。





今日のゴール

緯度経度・縮尺・GISの基本を用いて
資料を読める。



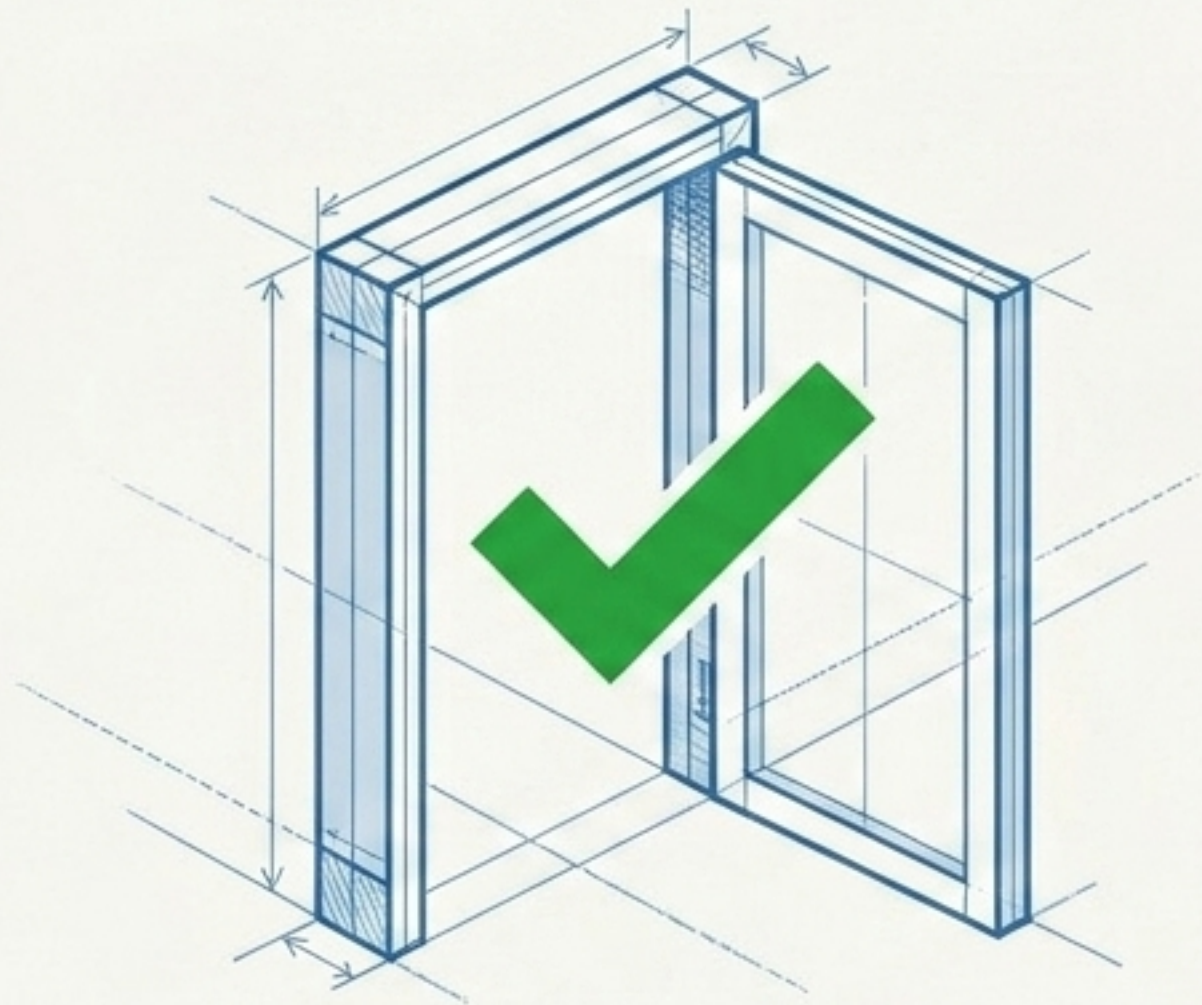
受験での位置づけ

共通テストは「時間との勝負」。根拠を
本文・資料から拾えるかが得点に直結する。



医学部志望でも一次で足切りにならないよう、
ここは「速く・正確に」を型で固める。

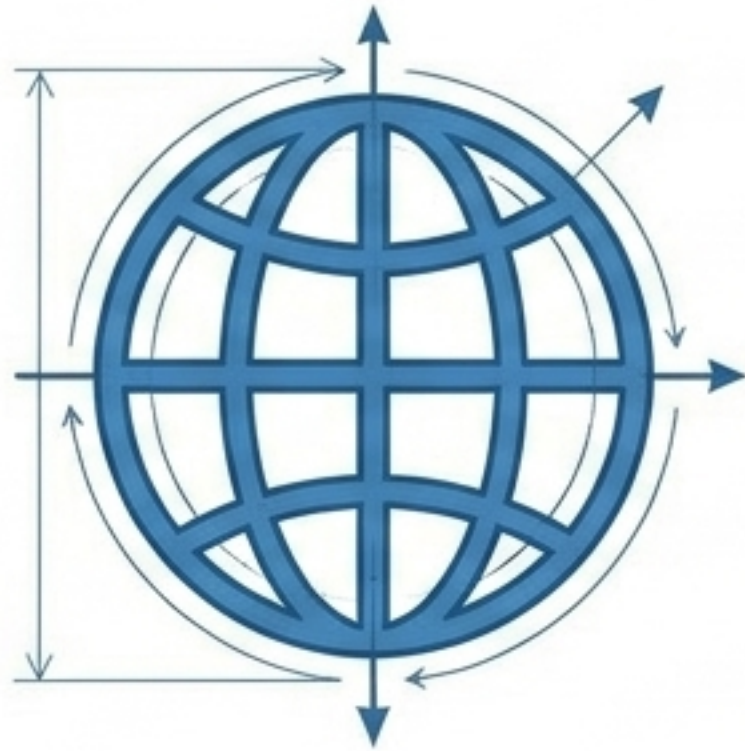
前提チェック



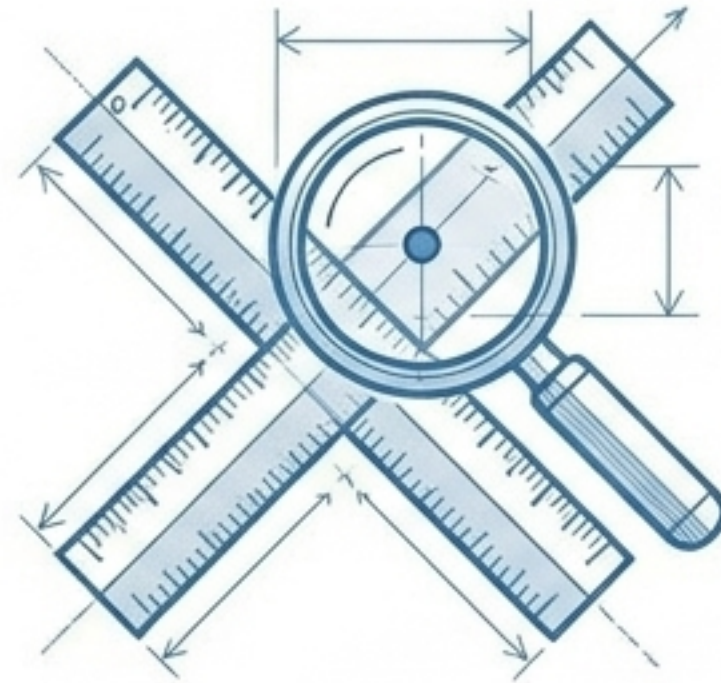
必須となる前提知識：なし

入口ユニット。ここから開始してよい。
ゼロベースから資料読み取りの「型」を構築する。

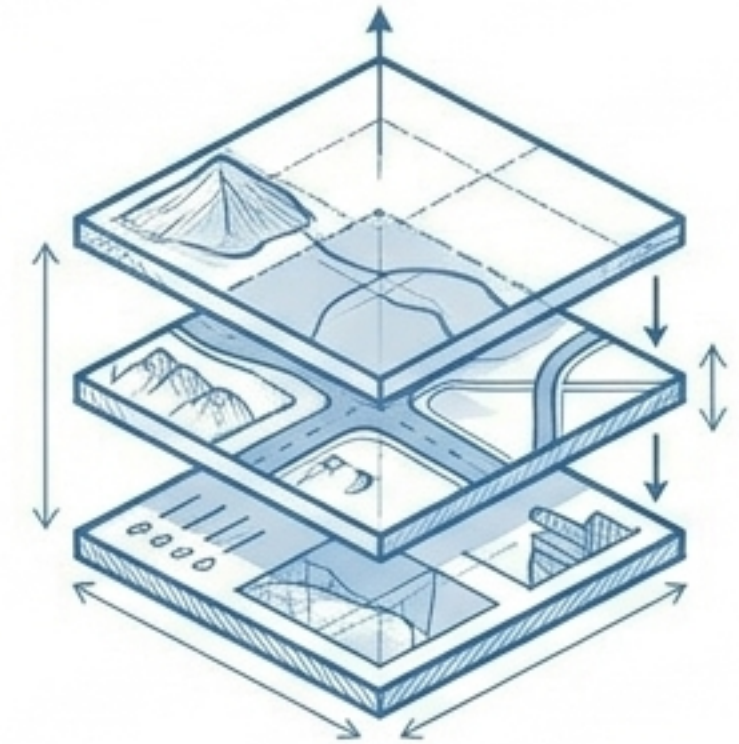
この回のポイント3つ



緯度は「南北」、
経度は「東西」



縮尺は
「地図上距離」
と「实地」の比

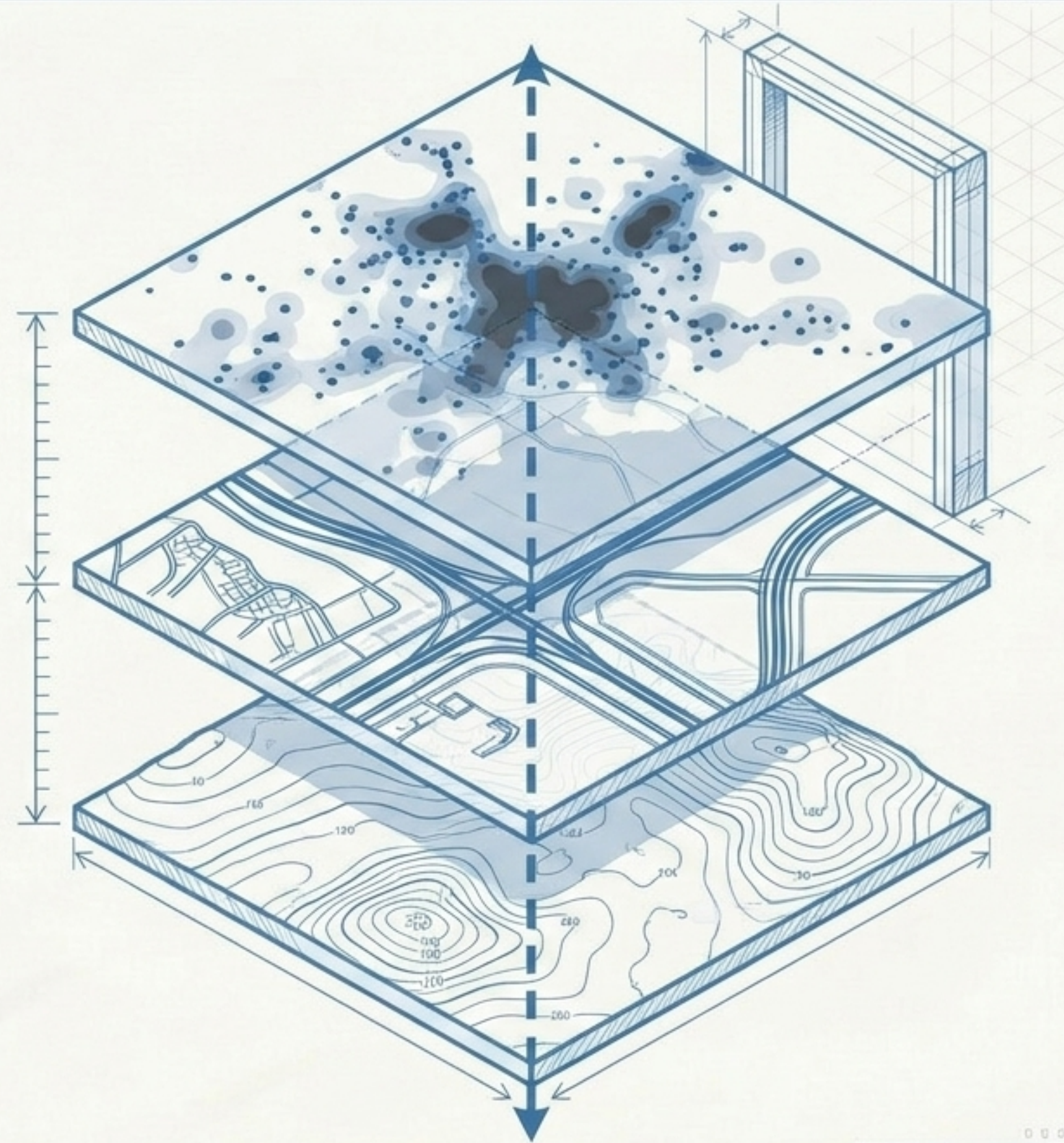


GISは
「層状に重ねて
分析」する発想

定義・用語

GIS（地理情報システム）

位置にひもづくデータを重ねて可視化・分析する仕組み。



核となる手順（試験でそのまま使う）

1



図の凡例と
単位を読む

2



何を比較し
ている資料
か一言で
(定義する)

3



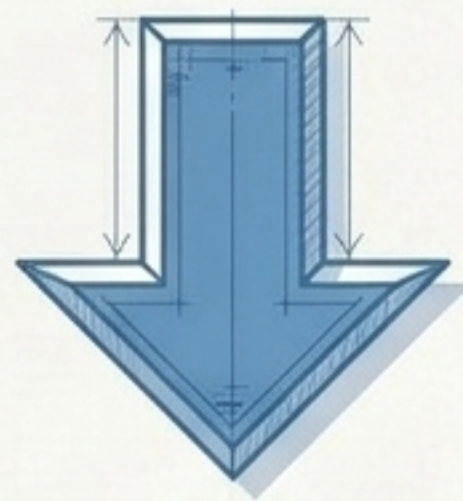
選択肢の
因果が資料の
範囲内か確認

例題A (標準・型の確認)

縮尺 1:50,000 で地図上 2 cm は実地何 km ? (概算手順)



地図上の2cm



1:50,000 の場合、地図上の2cmは…
計算：2cm × 0.5km



答え：実地 1 km

例題B（共通テスト型・やや実戦）

GISで「重ねる」利点を一文で。

**別種類のデータを位置で
で関連づけて読み取れる。**

演習（自力で再現）

資料問題で最初に確認する3点。



1. 単位



2. 凡例



3. 対象年次（時期）

落とし穴(減点・ひっかけパターン)

×

単位を無視する

×

資料にない因果を足す

自分の背景知識を使って資料の範囲外の理由を推測してはならない(手順3の逸脱)。

到達チェック（完璧の条件）

- ☐ ゴールを何も見ずに言える
- ☐ 例題A・Bを白紙で手順から再現できる
- ☐ 落とし穴を「なぜダメか」まで説明できる
- ☐ 次の単元に進む前に、今日の型を1問で使える

**型は構築された。
実践へ移行せよ。**

